

平成 30 年 2 月 10 日

守谷市議会議長 殿

報告者： 川名 敏子

視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 参加 したので報告します。

視察・研修日	平成 30 年 1 月 30 日 (水)	
視察・研修場所	いばらき消防指令センター	
視察・研修項目	同センターの目的、特徴、機能について 施設内視察	
参加者	守谷市側	議長、副議長を含む市議会議員 18 名、事務局 菅谷局長、望月係長、坂経済部長、高橋交通防災課長
	相手側	小川所長、生井沢弘明氏
視察・研修目的	運営協議会の一員として、新設された「いばらき消防指令センター」のシステムや活動内容を知るため。	
視察・研修内容	小川センター長のあいさつの後、センター内でビデオ映像を見ながら、担当者から詳しい説明を受けた。	
視察・研修総括 (今後の取組み等)	ガラス越しに、現在起きている火災や事故の通報を受けている様子がかがえ、緊張感があった。当日は、新たに任務に就く職員の研修も行われていた。	

視察・研修内容

「いばらき消防指令センター」は、平成28年6月の消防救急無線のデジタル化に併せて、茨城県内21消防本部（34市町）によるデジタル無線の共同整備、及び県内20消防本部による消防指業務の共同運用を行うことを目的に整備が推進され、同年6月に運用がスタートした。

近年は、大規模な自然災害が発生したり、高齢化による緊急出動の増加など、災害リスクが高まっている。これらを踏まえ、水戸市に「いばらき消防指令センター」を設置することで、ほぼ県内全域の消防指令業務の、情報の一元化することが可能となり、迅速で的確な災害対応が可能となった。との説明があった。

同センターへの通報は、年間109,959件。1日約301件もあるとのこと。職員は56名で、365日、2班体制で勤務している。

守谷市から119番通報をすると、水戸消防指令センターで電話を受け、災害発生地点を管轄する消防本部に対して、速やかに出動命令を行う。また、同センターでは、各消防本部の状況を把握しているため、隣接消防本部間での応援や、広域災害時の対応などが、容易にできることが、最大のメリットである。

「茨城消防指令センター」を視察訪問し、施設の概要を知り、職員の活躍の様子を目の当たりにして感謝の思いを新たにしました。今後の活躍を期待します。